

Tezukayama 大学通信帝塚山

University Letter
2014.12.25

No.36

特集

Special Feature

- ① [対談企画] 学長×経済学部長×経営学部長×法学部長
Tメソッド(新ソーシャルサイエンス)
について熱く語る!
- ② 帝塚山大学創立50周年記念式典挙行報告
次の50年へ、伝統守り改革を



帝塚山大学創立50周年記念式典

- 6 キャンパスレポート
- 10 研究室訪問
- 12 クラブ・サークル活動
- 14 卒業生紹介
- 15 クローズアップニュース
- 16 帝塚山 NEWS&TOPICS
- 18 お知らせ・イベントニュース





法学部 飛世 昭裕 学部長
TOBISE AKIHIRO

法学部から見てこのメソッドの良さは何でしょう
飛世法学部長 公務員が民間企業のいずれの進路を選択するにせよ、「法化社会」といわれる現代社会においては、リーガルマインドが重要です。リーガルマインドとは、「法的なもの」の考え方」とか「法的センス」のことで、それを法学部の勉強を通して身につけてもらいます。ただし、物事を法的に処理するにも、法的な知識とリーガルマインドだけではなく、経済や経営に関することも含め、社会で起きている事の理

解がなければ、正しく法律を運用できません。以前から法学部では「警察官」の重点化を進めてきましたが、「金融法務」や「不動産法務」も重要な柱と考えております。そのためにも「経済」「経営」の基礎が、非常な強みになるとも思います。
アドバンス・プログラムについて教えてください
学長 アドバンス・プログラムとは、業界トップ企業への就職や難関資格の取得をめざすための選抜制特別プログラムで、経済、経営、法の各学部の成績優秀な学生には、以下のような5つの特典を用意します。
① 選抜者だけの専用学習スペースを設置
② 一人一台、最新のタブレットPCを無償提供
③ 「資格取得講座」「特別資格サポート制度」の受講料を全額免除
④ 資格取得、就職にノウハウをもつ専任教員を配置
⑤ 実践的な就職対策となる「キャリア特別講座」を開講
これらは、社会のさまざまな領域で活躍するリーダーの育成を目的に、選抜された学生だけに提供される特別プログラムです。
最後に
学長 冒頭でT型人間の話をしましたが、実はこの話には続きがあります。今、世間では、T型人間よりπ型人間に注目が集まっています。「T」の真ん中から伸びる柱は1本ですが、「π」からは2本です。これは得意な専門分野を2つ持っていることを表しています。勿論、2本よりも3本の方がさらに良いということですが、Tメソッドはまさにこのような複眼的人材を育てるための理想的な教育メソッドなんです。



岩井 洋 学長 IWAI HIROSHI

アドバンス・プログラムについての一問一答

- Q1** アドバンス・プログラムに選ばれる人数は何人ぐらいですか?
A1 経済、経営、法の各学部から10名程度で、合わせて30名程度の予定です。
- Q2** アドバンス・プログラムの選考基準は試験の成績でしょうか?
A2 単に試験の結果だけでなく、出席状況や学習意欲など本人のやる気も含めて総合的に判断します。
- Q3** アドバンス・プログラムの選考は4年間で一度だけですか?
A3 アドバンス・プログラムは2年次と3年次に用意しますが、2年次の選考から落ちても次の年に頑張れば3年次で選ばれるチャンスはあります。また、一度選ばれたからといって油断していると、次の年に落ちることもあります。

- Q4** アドバンス・プログラムは非常に恵まれた学習環境ですが、費用が別途必要になりますか?
A4 アドバンス・プログラムに選ばれたからといって特別な費用は一切かかりません。
- Q5** アドバンス・プログラムに選ばれなかった学生への配慮は?
A5 もともと、帝塚山大学は面倒見の良い大学として定評がありますし、キャリア支援も充実しています。Tメソッドができて3学部が協力することによって、さらに支援体制は手厚くなりますし、アドバンス・プログラムに選ばれなかったとしても、その恩恵は十分に受けられることになります。全ての学生について、卒業までしっかりと支えていくという姿勢は今後も変わりません。

Q&A



経営学部 日置 慎治 学部長
HIOKI SHINJI

も法もすべて必要なんです。経済学部を卒業して就職しても、法学と経営の基礎を知っているのと知っていないのでは随分差があると思います。例えば、金融機関に就職した場合、最初に勉強させられるのが、法務と財務と税務なんです。経済を実学の面から見ても、1年生のときから経済と経営と法の3つの基礎を学べるといえるのは、経済学部の学生にとっても非常にプラスになるとも思います。

解がなければ、正しく法律を運用できません。以前から法学部では「警察官」の重点化を進めてきましたが、「金融法務」や「不動産法務」も重要な柱と考えております。そのためにも「経済」「経営」の基礎が、非常な強みになるとも思います。
アドバンス・プログラムについて教えてください
学長 アドバンス・プログラムとは、業界トップ企業への就職や難関資格の取得をめざすための選抜制特別プログラムで、経済、経営、法の各学部の成績優秀な学生には、以下のような5つの特典を用意します。
① 選抜者だけの専用学習スペースを設置
② 一人一台、最新のタブレットPCを無償提供
③ 「資格取得講座」「特別資格サポート制度」の受講料を全額免除
④ 資格取得、就職にノウハウをもつ専任教員を配置
⑤ 実践的な就職対策となる「キャリア特別講座」を開講
これらは、社会のさまざまな領域で活躍するリーダーの育成を目的に、選抜された学生だけに提供される特別プログラムです。
最後に
学長 冒頭でT型人間の話をしましたが、実はこの話には続きがあります。今、世間では、T型人間よりπ型人間に注目が集まっています。「T」の真ん中から伸びる柱は1本ですが、「π」からは2本です。これは得意な専門分野を2つ持っていることを表しています。勿論、2本よりも3本の方がさらに良いということですが、Tメソッドはまさにこのような複眼的人材を育てるための理想的な教育メソッドなんです。



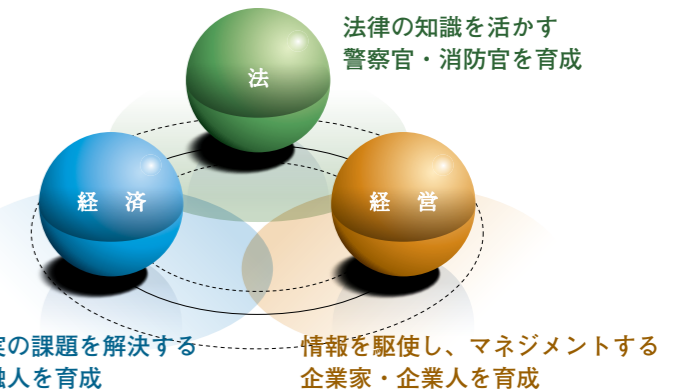
学長×経済学部長×経営学部長×法学部長

Tメソッド (新ソーシャルサイエンス) について熱く語る!

進むべき「未来」が、きっと見つかる。

1年次に3学部共通の基礎を学び、2年次からそれぞれの専門へ……。それが帝塚山大学だけの、まったく新しい学修法「Tメソッド」です。将来、社会で活躍するためには、経済・経営・法律の知識は必須。3学部の連携によるプログラムを通じて、幅広い知識とともに、社会が求める「行動する力」「協働する力」「表現する力」を身につけます。

Tメソッドスペシャルサイトがオープンしました
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/socialscience/>



先ず、Tメソッドとは何ですか?
学長 文字どおりTメソッドの「T」は「Tezukayama」の頭文字ですが、今、世の中に求められている人材とは、I型人間ではなくT型人間なんです。I型人間とは一芸に秀でたスペシャリストのことで、T型人間とは深い専門的知識を持ちながらも幅広い教養を身に付けている人材のことで、「T」のタテ棒を専門性、ヨコの棒を視野の広さに見立てて呼ばれています。Tメソッドとは、まさにT型人間を育成する、帝塚山大学オリジナルの教育メソッドなんです。
それでは、Tメソッド(新ソーシャルサイエンス)の基本的な考え方について教えてください
学長 もともと、本学は教養学部から始まった大学であり、幅広い教養の上に高い専門性を身につける教育を実現したいという思いから誕生しました。各学部が縦割りの教育をするのではなく、3つの学部が共通の基礎を学び、その上に各学部の専門教育を実施することが狙いです。ソーシャルサイエンスとは社会科学のことですが、人間の営みによって生じる社会現象を科学的に追求する学問です。例えば、法学部は法律やルールの面から社会とはどうあるべきかを研究し、経済学部はお金の流れから社会現象を説明し、経営学部は企業や組織を通じて社会について追求します。今、世の中から求められている人材とは、まさにこれら3つの基礎知識を身に付けながら各学部の専門知識を活かせる人材なんです。
経済学部から見てこのメソッドの良さは何でしょう
熊谷経済学部長 卒業後、会社に入社してすぐに求められる基礎知識として、経済も経営



経済学部 熊谷 礼子 学部長
KUMAGAI REIKO

興福寺 貫首 多川俊映師が 記念講演

記念講演会では、興福寺貫首で本学特別客員教授の多川俊映師に、「自然の中の人間」というテーマでご講演いただきました。講演では、「現代に生きる私たちは、自然と人間、善と悪などというように、物事を二つに分けて一方を大事に、一方をおろそかに考えがちである。物と心、人と自然などを分け隔てることなく、つながったひとつのものにとらえて、物を大事にする、人を大事にするということが大切である。帝塚山大学には、この考え方に立脚して、社会の様々な問題に対し、人材を育成する中で、奈良という地域の大きなシンクタンクとしての活躍を期待する」というお言葉をいただきました。



50の プロジェクト

帝塚山大学五十年史と創立50周年記念DVDを刊行

創立 50 周年記念事業の一環として、「帝塚山大学五十年史」と「帝塚山大学創立 50 周年記念 DVD 50+ (PLUS)」を制作しました。

「帝塚山大学五十年史」は B5 版 200 ページの構成で、教養学部教養学科のみの女子単科大学として誕生した時代、経済学部開設とともに男女共学化へ移行した時代、学部学科の新設改組を経て 6 学部 9 学科を擁する文系総合大学へと発展した時代などが、写真とともに詳細に綴られています。

また、「帝塚山大学創立 50 周年記念 DVD 50+ (PLUS)」は、50 年の歩みを各年の出来事にゆかりのある教職員・卒業生等に語り継いでいただくというコンセプトで作られ、写真だけの出演も含めると総勢 100 名以上の方々にご登場いただきました。50+ (PLUS) というタイトルは次の 50 年に向けての第一歩を表現したものです。収録時間は約 16 分で、場面がテンポよく切替わり、見る人を飽きさせない編集となっています。



「帝塚山大学五十年史」



「創立50周年記念DVD」



2



6



11

次の 50 年へ、 伝統守り改革を

帝塚山大学創立 50 周年記念式典を 10 月 4 日 (土)、すがすがしい秋晴れのもと奈良市春日野町の奈良県新公会堂にて挙行了ました。大学や高等学校関係者のほか、卒業生、企業、団体等約 350 名の皆様にご出席され、午前 10 時より 1 階能楽ホールにおいて記念講演会ならびに記念式典が挙行され、午後から 2 階レセプションホールにて祝賀会が盛大に開催されました。ここでは当日の様子を写真で紹介します。



1



5



4



3



10



9



8



7

1. 祝賀会の様子 祝賀会場は終始和やかなムードで賑わいました
2. 学帽とアカデミックガウンの展示 襟には卒業した先輩の名前が刺繍されています
3. 祝賀会場入口ゲートでは初代学長と現学長のパネルでお迎えしました ゲート上部の布は植村和代教授 (P10)
4. 祝賀会の開会でご挨拶された柳澤保徳学園長
5. 受付の様子 ご来賓の皆様は朝早くから受付に詰め掛けました
6. 圧巻の歴史絵巻 帝塚山大学50年の歩みを祝賀会場の外壁全面に展示しました
7. 祝賀会でご挨拶される荒井正吾奈良県知事
8. ご来賓の皆様は歴史展示を食い入るようにご覧になりました
9. 森崎吉初代学長遺稿集
10. 創立50周年を記念して母校への寄付の目録を有山雄基理事長に手渡される竹原優大学同窓会長 この後乾杯のご挨拶を頂きました
11. 貴重な第 1 期生の卒業証書
12. 本学の卒業生が代表を務める梅乃宿酒造と現役学生のコラボで誕生したスパークリング日本酒「酒輪(しゅわ)」で乾杯しました
13. 卒業生と恩師の記念撮影はそこかしこで見受けられました
14. 近畿日本鉄道株式会社では帝塚山大学創立 50 周年記念入場券を発行され、当日も会場出張販売されました
15. 吹奏楽部の演奏 祝歌「茜雲」を含む 3 曲を演奏し盛大な拍手に包まれました
16. 祝賀会での料理
17. 創立 50 周年を記念して今年誕生した、帝塚山大学公式キャラクターの「てじかっきー」も展示されました



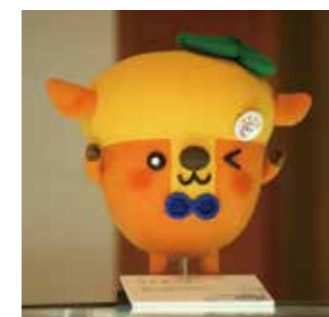
14



13



12



17



16



15

50の プロジェクト

50周年「るるぶ特別編集 帝塚山大学」を発行!

創立 50 周年記念プロジェクトとして、株式会社 JTB パブリッシング発行の旅行情報誌「るるぶ」と文学部文化創造学科がコラボレートした『るるぶ特別編集 帝塚山大学』を発行しました。本誌では「学園周辺グルメガイド」「まるごとならまち体験」「近鉄奈良線スイーツ街道」という 3 つの特集記事を柱に構成され、本家「るるぶ奈良」にはあまり掲載されていない奈良市西部地域や生駒市周辺のオススメグルメ・体験スポットを多く採り入れ、学生や本学の 2 つのキャンパス周辺にお住まいの方が、街歩きの情報ツールとして気軽に携えてもらえる一冊としてまとめています。



取材活動中の様子 (三条通・中谷堂)



誌面に出てくるモデルももちろん学生です





06 現代生活学部 こども学科
奈良県立平城高校との高大連携

帝塚山大学及び帝塚山小学校は、奈良県立平城高等学校と「高大小連携協力に関する協定」を締結しています。10月31日には、平城高校生を迎え連携授業を行いました。都留進准教授(図画工作科教育法)と一緒に授業に臨んだ4年生が高校生と活発な交流を持つことができました。教材化のディスカッションでは、高校生のさわやかなアイデアを、大学生が見事にサポート、コーディネートし、まとめてくれました。学生たちの4年間の成長が見えた授業でした。

07 現代生活学部 居住空間デザイン学科
「学内展2014前期」開催



今年度から設計実習の学内展を開催することになり、7月23日～8月10日に前期の作品が展示されました。設計実習は1年次から3年次の前期・後期に開講されており、施設用途や敷地などの一定の制限の中で建物のデザインを行うも

ので、コンセプト立案から模型製作まで学生が一人で一貫して行います。3年生のインテリアデザイン課題「奈良の古民家を改修したギャラリーショップ」(写真)、2年生の設計製図課題「絵本作家の記念館」がそれぞれの会場で一堂に展示されました。

08 現代生活学部 食物栄養学科
産学連携で新メニューを開発!

食物栄養学科所属学生が、とんかつKYKとの産学連携により、「女性のお客様に健康的で美味しいとんかつ弁当を楽しんで頂きたい」と新メニュー「ほうじ茶ごはん&生ゆば巻きかつのお弁当」を開発しました。8月限定でデリカKYK 14店舗にて販売されましたが、好評につき9月中旬まで延長して販売されました。こうした企業とのコラボ企画は学生たちの創作意欲の向上につながるものであることから、今後も取り組みを続けていきます。



09 法学部 法学科
「犯罪・非行のない安全・安心なまちづくり」プロジェクトが始動!



法学部では、今年度後期から、「防犯ボランティア講座～犯罪・非行のない安全・安心なまちづくり～」を開講しています。これは、奈良県警察本部生活安全部と協働の下、「自分のまちは自分たちが守る」という意識を持った若い世代が自主防犯の重要性を理解し、将来のボランティアリーダーとして活躍してくれることを期待して設置されたものです。

本学部における多くの警察官・消防官志望の学生は、既に県警主催の学生防犯ボランティア「あっぷりけ戦隊!奈良まもり隊」および少年警察ボランティア「少年フォロース奈良POLI」に参加し、積極的に活動していますが、さらに多くの学生たちが「安全・安心なまちづくり」に関心を持ってくれることを願っています。

10 心理学部 心理学科
高知市での高齢ドライバー調査

心理学部応用心理学研究室では、9月29日(月)～10月1日(水)、及び10月6日(月)～12日(日)にかけて、高知県高知市内の高知県自動車学校において、高齢ドライバーへの調査を実施しました。応用心理学研究室の学生たち(3回生4名、大学院生1名)は、他大学の学生や研究員、さらには教習所の指導員の方々と一緒に、室内での質問紙調査や危険予測実験、教習所コースでの運転行動調査などを、約50名の高齢者に対して行いました。時に一週間に及ぶ長期の調査でしたが、学生たちの一生懸命さも伝わり、参加してくれた高齢者たちにも大変好評でした。



危険予測調査の説明をする学生たち



教習所走行実験中の学生たち

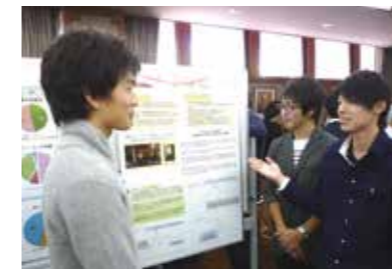
本調査は、心理学部の蓮花一己教授(交通心理学)が中心となり、高知工科大学との共同研究の協定に基づいて実施されています。今後、高齢者の健康状態や年齢と運転行動の関係を明らかにしていく予定です。計画では3年間の調査期間が予定されています。



01 文学部 文化創造学科
奈良町にて中国音楽コンサートを開催

8月23日と10月25日の2回にわたり、奈良町の町家施設を利用して中国音楽のコンサートを開催しました(ダイチェーンフォとの共催)。本学科5名と経営学科1名が参加し、企画立案から広告宣伝、当日運営(会場設営、会場誘導、受付、MC、音響など)に至る幅広い仕事を担当しました。学生たちの努力の甲斐あって、多くの方にお越しいただき、大盛況でした。4か月に及んだプロジェクト活動を通して学生たちは個々に着実な成長をみせるとともに、チームとして高度な自己組織性が達成されました。

02 経済学部 経済学科
ゼミ生による研究発表イベントを開催



11月24日(祝)、帝塚山大学の大学祭で経済学部のゼミ生による日頃の研究成果を発表するイベントを行いました。発表形式は、口頭発表とポスター報告の二つの形式。口頭発表部門では、各ゼミ所属の学生が8分の持ち時間で研究内容を経済学部

の1年生と2年生、教員、OB、保護者などの聴衆の前でパワーポイントを使って発表しました。またポスター報告部門では、各ゼミ生が研究内容をまとめたポスターの横に立ち、自身の研究内容を丁寧に説明していました。

03 文学部 日本文化学科
「ビブリオバトル in 帝塚山」を開催

11月7日に図書館Cキューブで「ビブリオバトル in 帝塚山」第2回(全国大学ビブリオバトル予選会)を開催しました。日本文化学科の学生6名が地区決戦への出場権をかけて、おすすめ本のプレゼンを5分ずつ行いました。40名を超える観戦者



全員で「どの本が読みたくなったか」の投票を行い、チャンプ本は橋本佳奈さんの紹介した『ティンカー、テイラー、ソルジャー、スパイ』に決定しました。充実した熱戦で楽しい時間になりました。

04 経営学部 経営学科
後期の特殊講義・実践的中小企業経営が好評です!

奈良県の青年社長の皆様との連携により、2014年後期から「実践的中小企業経営」開講しています。この講義は、奈良県の多様な業種の企業の青年社長から、企業経営について大学生に伝えたい、地域の宝である大学生を共に育てたい、という熱意を頂き実現したものです。



講義は、社長より40分の講義・菅先生からの20分のミニ講義による学問的な紐づけ・8人の青年社長を交えた学生との25分のグループディスカッションの3部により構成されています。穂原先生によるきめ細やかなファシリテーションも好評です。

2回目のグループディスカッション後に、受講生から、「感動しました」「いつも明るく前向きに考えないといけないと思いました」「財務諸表を学ぶ意味がわかりました」などの感想が発表されました。読売新聞から取材に来られ、記事としても掲載されました。

05 文学部 英語コミュニケーション学科
TOEIC IPテスト実施

10月25日(土)の13:00から1201教室(1号館講義室)で、英語コミュニケーション学科2年生、3年生の全員を対象としたTOEIC IPテストを実施しました。当日は大変気持ちのよい秋晴れで、学生達もさわやかな気分を受験することができたようです。学科では例年この時期に、2、3年生を対象としたTOEIC IPテストを実施しています。今回は4年生の希望者も受験しました。学生達は日頃、カリキュラム内の「ACE English」やレベル別TOEICクラスなどの英語資格科目をはじめ、特別準備講座や、留学プログラム等を通して英語運用能力を研いており、一斉にTOEIC IPテストを受験することによって、それぞれの力の把握とさらなる学習への動機を深めています。



今回のTOEIC IPテストでも、リスニングセクション100問とリーディングセクション100問という、2時間余りの長い集中力を必要とする試験にも、最後まで熱心に取り組んでいました。

今後も引き続きよい研鑽を積んで、実り多い学生生活が送れるように願っています。

日本人にとっては、ただ「花」というだけで、桜の花を意味する。そして「花見」といえば、昔から桜の花を見るために野山に出かけ、一日を楽しむことを言う。したがって、桜以外の花を見に行くことは、特にその花の名前をつけて「梅見」「観梅」「観菊」などと言う。

もともと、サクラのサは風の神、穀霊、クラは神座(神の居る場所)という意味があり、サクラは田の神が高い山から里に降りてくるときに、いったん留まる依代となる常緑の樹や花の咲く樹を表した。桜の花が稲の花に見立て

民俗 よもやま噺

花見で酒盛り

春になって桜の樹に降りてきた神様を、料理と酒でもてなし、人間も一緒にそれをいただくことが、花見の本来的意味であった。つまり、たんなる人間の楽しみではなく、農耕と結びついた重要な宗教的行事であった。

昔から西日本では旧暦三月三日あるいは四月三日、東日本では四月八日が花見の日とされ、神様の祭りのため農作業を

られ、秋の収穫の占いに用いられることから、サクラの代表として、桜の樹が当てられるようになったのである。

春になって桜の樹に降りてきた神様を、料理と酒でもてなし、人間も一緒にそれをいただくことが、花見の本来的意味であった。つまり、たんなる人間の楽しみではなく、農耕と結びついた重要な宗教的行事であった。

帝塚山大学名誉教授(元・帝塚山大学学長) 国立歴史民俗博物館名誉教授・文学博士 岩井 宏實



七重漆塗朱杯



大学院所蔵 資料紹介

招き猫

今回紹介する資料は縁起物の一つで、店先などによく置かれている招き猫です。猫が顔を撫でる姿を人を招く姿に見立て、商売繁盛や招福を願って飾られます。その由来は様々な説が唱えられており、彦根藩主井伊直孝を伊井家の菩提寺となる豪徳寺に招いた猫を真似て作られた招福猫児が招き猫になったという説や、愛猫を失った老婆の夢枕に立った猫が、自身の姿をかたどった人形を作って売るように御告げをしたというものまであります。蚕の害敵であるネズミを追い払ってもらいたいという意味から、養蚕農家がネズミ除けの呪と豊蚕を願って買い求めた事から、江戸中期以降に盛んに信仰されるようになった。一般的には写真のような三毛猫が前脚を挙げた

帝塚山大学大学院人文科学研究科 博士後期課程2年(民俗学) 守本 雄一郎

姿で表現されていますが、他にも黒い猫は昔の日本では「夜でも目が見える」などと考えられており、そこから黒色の招き猫は厄除けや魔除けとして、赤色の招き猫は疱瘡や麻疹をもたらす神が赤色を嫌うという事から信仰されています。現代では他の色にも意味が見出され、ピンク色(恋愛成就)、青色(交通安全)といったものもあるようです。また、右手(前脚)を挙げている猫は金運を招き、左手(前脚)を挙げている猫は人(客)を招くとされています。



CAMPUS REPORT 2014 July-December

11 経済学研究科 経済学専攻 大学院生による研究成果の中間発表会を開催

9月から10月にかけて、大学院生による修士論文と特定課題研究の中間発表を行いました。経済学研究科博士前期課程所属の鄭百慧(テイ ヒャクケイ)さんは、「中国銀行業の発展と現状」というテーマのもと、中国の銀行の効率性が株式市場によって向上したかどうかを各銀行の公表データに基づいて報告しました。発表会では、論文審査担当の教員だけでなく大学院生もオブザーバーとして加わり、活発な質疑応答があるなど熱気に包まれた発表会となりました。発表後、鄭さんは、審査の先生方からのコメントを真摯に受け止め、次回の論文審査までに改善したいと語ってくれました。

12 心理学研究科 心理学専攻 世界に羽ばたく大学院心理学研究科院生ら!

去る7月に第28回国際応用心理学会議がバリで開催されました。大学院生として山下雅俊さんは山本教授と、小畑周介さんが森下教授と、鉄川大健さんは谷口准教授、森下教授との共同研究発表、森下雄輔さんは谷口准教授とのポスタープレゼンテーションがあり、流ちょうな英語で発表を終えました。この努力の背景には博士前期課程2年鉄川大健さんに代表されるような研究生生活があります。彼は休日も含め、多くの時間を大学にいてデスクに向かい、勉強仲間と研究談議を楽しみ、留学経験を生かした異文化不応感の軽減をめざした修論に現在取り組んでいます。さらに学部生へのTA(授業補助)としても活動中です。もちろん学会や研究会で発表をする一方、アルバイトで生活費や研究費を捻出しているが、遊びも楽しみながら研究で疲れた心を回復し、その活力を研究に生かす。このように勉学と遊びを両立しながら充実の院生活であると言えます。



13 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 フィールドワークを通して民俗仏教の深層を探る

人文科学研究科日本伝統文化専攻の民俗学特殊研究(民俗学ゼミナール)では、フィールドワークを行っています。11月には奈良市の般若寺で特別公開中の石造十三重塔内に奉納されている宝物を拝観し、鎌倉期における真言律宗の仏舎利信仰や観尊の宗教活動について調査分析しました。折々に奈良の寺院を訪れ、現世利益や先祖信仰などの特徴的な信仰を探っています。このような調査を重ねて、民俗仏教への理解を深めることをめざしています。



14 法政策研究科 世界経済法制専攻 大学院生による修士論文中間報告会を開催!

法政策研究科では、11月5日に修士論文の提出を控えている博士前期課程の大学院生による中間報告会が開催されました。高榮洙(コウ ヨンス)教授から指導を受けている薛明明(セツ メイメイ)さんは、「著作権の間接侵害」という研究テーマで、著作権の侵害への間接関与者(例:違法映像のYoutubeへのアップロードを放任)の法的責任について、日中の判例や著作物の流通活性化を図る集中管理制度を比較研究しています。同じく、高榮洙教授から指導を受けている岡武範さんは、「ソフトウェア開発成果をめぐる著作権の権利帰属の問題」という研究テーマで、ソフトウェア開発において発注側と開発側との間でその成果の帰属をめぐるトラブルが多発していることに着目し、実務上の経験を踏まえた解決策の提示を試みる研究をしています。



本学教員の執筆図書を紹介

- Introducing Teacher Research Books
- 黄 勅霆 (法学部 准教授) 分担執筆
ケースで学ぶ 国際私法 法律文化社 ¥3,456
 - 清水 婦久子 (文学部 教授) 編集
清水好子論文集第二巻 源氏物語と歌 武蔵野書院 ¥3,780
 - 森 郁夫(故人) (帝塚山大学名誉教授・前附属博物館館長)
一瓦一説 瓦からみる日本古代史 淡交社 ¥1,512
- 昨年5月に故人となった森郁夫名誉教授の遺作。5章立てを予定し、病床でも書き進めていたが、最終章はかなわずに絶筆となった。森名誉教授が調査に携わった飛鳥寺、法隆寺、平城京など約50カ所の6世紀末から8世紀の出土瓦を取り上げ、各瓦の特色から時代背景までを解説している。

TEZUKAYAMA books



(著者名50音順)

DVD 紹介

- 牟田口 章人(文学部 教授)
DVD-BOX 正倉院～時を超えた世界の宝～ 正倉院～日本が誇る世界の宝～ 各BOX 5巻 ¥24,300 発売元:朝日放送 販売元:ポニーキャニオン 制作著作:朝日放送
正倉院展で開示された宝物を一点ずつ詳細に鑑賞できるハイビジョン映像集。合計400点近くにのぼる宝物を、正倉院の北倉・中倉・南倉の3つの倉ごとに分け、10巻に収録。宮内庁正倉院事務所の特別協力のもと、最新の研究成果も紹介する専門性の高い資料となっている。



The Voice of Seminar Students **ゼミ生の声**



大倉 照士 さん (4年)

ゼミナールでの印象的な出来事は何ですか？

日本古代の織物「倭文(しつ)」についての講義が非常に印象に残っています。倭文の変遷や国内生産された時代などを学び、文献や出土品から再現したものを見せていただいた際は、何とも言えない感動を味わったことを覚えています。

また、「飛鳥光の回廊」へ出品した光のオブジェ制作、設営の体験です。制作に際し、通常の実習授業とは異なり、学外の大勢の方々に見ていただくために制作した作品は「個人制作」ではなく、ゼミ全体の「共同制作」であったことにも責任を感じたため、私を始めとしたゼミ生全員にとって貴重な体験となりました。

卒業制作に向けての取組みを教えてください。

卒業制作するにあたり、どのような作品を作るかについてなかなか方向が定まらず、度々植村教授と相談を重ねる中で、私は前述の講義で知った「倭文」に影響されました。そこで、卒業制作のコンセプトを「日本古来の織物技術を現代生活空間へ応用する」とし、衝立(ついたて)と暖簾(のれん)を制作しています。

作品の制作意図は、現代人が他人の干渉を受けない個人の空間を求めている傾向にある時代背景を視野に入れて制作を行っており、衝立と暖簾を用いて既存の空間を仕切ることで、個人の空間を確立することを作品の目的としています。

植村ゼミで学んだことを 今後どのように活かそうと思っていますか。

ゼミの仲間と協力して作品を作り上げた経験から、人とのコミュニケーション力や人間関係を円滑に進めていく社交性、協調性をより高めることができました。これらのことを今後は仕事において活かしていきたいと思っています。また、今私が制作している織物のように、着実に段階を踏んで歩いていく人生の道を社会人として築いていきたいと思っています。

2000年間使われてきた東アジアの伝統的な織機「腰機」、奈良興った奈良晒用の織機「大和機」、室町時代末から江戸時代にかけて盛んであった南海交易と織物の伝播などです。

腰機と大和機はともに上質な平織物を織る仕掛けであり、帝塚山大学の織物教育の核として教えてきました(写真左上)。品質の高い麻織物である奈良晒が、近世奈良の最大の産業であったことは広く知られ

ていますが、現在では大和機の優れた機能は忘れられています。奈良晒用にベルシアから導入されたと考えられる大和機とそれ以前の腰機との比較研究は奈良の大学にふさわしく、今後も続けていただきたいと思っています。

植村ゼミを巣立っていった卒業生みなさんへメッセージをお願いします。

織物は製作工程が多い、高度な工芸です。芸術的なひらめきや理論付

けも必要ではありませんが、何よりさまざまな作業を複雑に積み重ねていく根気強さが第一です。時間がかかりますので、強い意志力や継続力がないと作品が完成しないことは、卒業制作でよく分かったと思います。学んだその精神を、是非折にふれ初心に戻って思い起こしてほしいと思います。

そして織物の持つ深い美学「織物の美は品格の美」を、自らを律し他に配慮する人間の品性に重ね合わせ、深く心に刻んで生きていただきたいと思います。



Office Introduction **研究室訪問**

現代生活学部 / 居住空間デザイン学科

植村研究室

植村先生のご専門と研究のいきさつについてお教えてください。

文学表現と日本文化の探求をめざして、国文学科に入学しましたが、3年生の頃から造形表現の世界に転向したいと考え始めました。そして、無地平織の織物を目にして「織物には叡智が宿っている」という直感を得、卒業後は織物工芸の道に進むことに決めました。

織物は経糸と緯糸の直交という制約がある、不自由な造形表現です。しかし、始めてから20年後にその制約ゆえに「織物は1万年前に発明された人類初の機械生産技術」「方形の平面という、自然界に存在しない人類初の創造物」「織物の美は品格の美」であるとの認識に至りました。

既に、帝塚山短期大学の日本文化史専攻で、日本の織物工芸を教えるおりに、この考えを学生に知ってほしい、そのうえで作品制作をしてほしいと思うようになりました。自身もその後、論文と作品という2本柱で、織物を研究することを決意したのです。

「織物学」のご研究とは、どのような研究ですか。また、その魅力は何でしょうか。

「織物学」は「日本織物文化研究会」が提唱している新学問領域です。「織物生産は、人類初の普遍的な技術開発であり、文明の始まりである」という認識のもとに、織物の歴史、材料や

技術、用途や機能、文化や美学、流通や経済などを網羅します。

織維学や染色学は既にありますが、より総合的な織物学という学問はこれまでありませんでした。ものづくり・生産技術を考える上で、また文明論の構築にとっても、基本的で重要であるにも拘らず、これまでになかった学問であることが魅力です。

植村ゼミにおける学生との取り組み内容についてお聞かせください。

30年間に及ぶ短期大学での教育と研究で、貴重な道具類を揃え、日本一だとも言われるほど設備は充実しています。現在は、現代生活学部居住空間デザイン学科でタペストリーなどのインテリアアプリケーションを教えますが、ゼミでも作品制作を希望する学生が圧倒的に多く、卒業研究として、織物の歴史や技法を学び、斬新で意欲的な作品を制作しています。

近年は奈良県高市郡明日香村で9月に開催される「飛鳥光の回廊」イベントに、植村ゼミとして5年連続で参加しています。ゼミ生みんなで作った制作したオブジェを現地で設営する体験を経て、後期からの本格的な卒業研究に臨む、という体制をとっています。

今後の研究の方向性や抱負についてお聞かせください。

今年度で定年を迎えますが、12月

には集大成

として著書「織物」(法政大学出版局)ものと人間の文化史)シリーズ)を出版し、その後も執筆活動と作品制作を続けていくつもりです。作品制作は、ここ35年間途切れることなく続けてきました。新鮮な活力を持続するためにも、作家活動は続けたいと思います。

また、出来るだけ機会をとらえて社会人教育にも取り組みたいと考えています。織物を学びたい社会人の潜在要望は非常に多く、少しでもお役に立てれば有難いと思っています。是非お声を掛けていただきたいです。

出版された著書の内容などについてお聞かせください。

1、2章は織物の発明にいたる歴史的背景と、織物の特質、世界の古い織物と織機(織物を作る仕掛け)の種類などを記しています。

3、6章は日本の織物文化について述べました。縄文時代から古墳時代までの古代の状況と、日本

織物生産は人類初の普遍的な技術開発で、文明の始まり

現代生活学部 / 居住空間デザイン学科

植村 和代 教授 KAZUYO UEMURA

1968年 大阪女子大学 学芸学部 国文学科卒業
 1977年 帝塚山短期大学専任講師 1990年 教授
 2004年 帝塚山大学 現代生活学部教授(現在に至る)
 論文 「腰機による織物」「大和機と糸譜」「花織の源流」他 作品受賞 文部大臣奨励賞3回 他
 現在 日本織物文化研究会会長 日本きもの学会副会長 第一美術協会運営委員、審査委員 他



Pick up!
女子
バレーボール部

7年がかりで遂にとらえたトップリーグ!

関西大学バレーボール連盟所属の女子バレーボール部は、2部秋季リーグ戦(8チーム)において総当たり戦で4位、その成績をもとに上位4チームで行われた順位決定戦では、下克上のごとく3戦全てに勝利しました。これにより、通算成績では7勝3敗と首位の関西大学と並びましたが、セット率の差により惜しくも準優勝となりました。

また、リーグ戦終了後に優秀選手の発表があり、安谷屋名月さん(人文学部日本文化学科3年)が敢闘賞、春季に引き続き奥野杏さん(文学部日本文化学科1年)が新人賞にそれぞれ選ばれ、個人成績でも名誉ある結果を収めることができました。

そして、来年度から1部リーグを12チーム編成とすることが連盟より発表されているため、2部準優勝の成績を残した本学は、晴れて念願の1部リーグへの昇格が決定しました!

魚井貞夫監督は「選手たちの力量は他の1部校と互角以上。いつも『本気になること』を言い続けてきました。十分に戦えます。もちろん来季から優勝をめざします。」と話しており、更なる強豪との戦いにも勝利への期待が膨らみます。

来春からはトップリーグで奮闘する女子バレーボール部に、引き続き温かいご声援をよろしくお祈りします!



奈良・東生駒 CAMPUS

CLUB ACTIVITIES
クラブ・サークル活動

クラブ・サークルを通して、学内外で活躍する帝大生。学生たちの元気な姿をお届けします。

Pick up!
アメリカン
フットボール部

上位リーグめざして、日々練習に励んでいます!

アメリカンフットボール部 BISONS は、1987年に創部された体育会系のクラブです。

今年度の関西学生アメリカンフットボール秋季リーグでは昨年度に続き、目標としていた Div. II 昇格のための入替戦出場校決定戦に進むことはできませんでした。

ですが、4年生をはじめ選手・マネージャーの全員が全力を出し切ることができました。

今季は目標を達成できませんでしたが、来季こそは達成できるように現3年生と2年生を中心に、より一層日々の練習に励み、そして新入生の勧誘とに全力を注ぐ所存ですので、これからも応援をよろしくお祈りします!



奈良・東生駒 CAMPUS

硬式野球部

1部昇格後初のリーグ戦を4位で終える

阪神大学野球連盟所属の硬式野球部は、1部昇格後初めての秋季リーグ戦に挑み、6チーム中4位で今シーズンを終えました。

初カードからリーグトップの大阪体育大学と戦うことになり、強豪へのプレッシャーから2回戦では大敗を喫してしまう不安な一面を見せましたが、徐々に1部リーグの雰囲気にも慣れ、互角の争いをする試合も見えてきました。

最終的には春季1部リーグ4位の甲南大学、同じく5位の天理大学を試合で破り、本学は第4位という成績で幕を閉じました。また、個人表彰でも昇格直後にも関わらず、ベストナイン二塁手及び首位打者賞に森貴一さん、敢闘賞に中西啓太さん(ともに経済学部経済学科4年)が選ばれ、意義のある戦績となりました。

今までチームを牽引してきた4年生も秋季リーグで引退となり、来春からは顔ぶれも一新して更に上位をめざして練習に励んでまいります。今後とも硬式野球部への応援のほど、よろしくお願いいたします!



奈良・東生駒 CAMPUS

TAGG

“わ”をテーマに動画投影を行いました!

奈良・学園前キャンパスの学園広場で、建築デザインサークル TAGG が、10月20日~24日の1週間、夕刻から動画投影を行いました。

大学創立50周年に際し、TAGG として記念になる活動しようという部員たちが企画した催しです。

3名の代表がアイデアを出し合い、総勢13名のメンバーで和、輪、環などを形にしていきます。メンバーそれぞれの得意分野を生かし、1つの作品にまとめることができたのが最大の収穫だと語ってくれました。動画編集など新しい知識が身についたことも勉強になったそうです。

一日の講義が終わった学生たちにとって、帰路の目を楽しませる素敵な作品に仕上げることができました。

また、催しの告知ポスターにも工夫を凝らし、クオリティの高い作品として仕上げたのもさすが TAGG です。

今後は、クリスマス会の展示、あかね祭の展示などで彼女たちのデザインした作品を見ることができそうです。



奈良・学園前 CAMPUS

ヘルスチーム
菜良

**ヘルスチーム菜良
おでかけ健康フェスタに参加**

奈良県大和郡山市にあるまほろば健康パークで11月9日に開催された「おでかけ健康フェスタ」へ奈良女子大学・近畿大学・畿央大学との合同企画で、ヘルスチーム菜良が参加しました。

本学生たちは青空カフェという飲食ブースを担当し、おにぎりとお汁を来場者に提供しました。テーマは“旬”。旬の食材である「かぶ」を上手に活かし、来場者の皆さんにとても喜んで食べてもらうことができました。午後からは、旬の食材を紹介するクイズ大会も行われ、会場はとても賑わいました。

「とても美味しかった!」と感想をいただいたり、SNSでも良い反応があるなど、嬉しい感想を沢山いただいた事が、大きな自信になったようです。

今後も地域や他大学との繋がりを大切に活動を続けていきます。



奈良・学園前 CAMPUS

どれみ♪

**幼稚園児、小学生と交流
「ファミリーカーニバル」**

11月2日に帝塚山幼稚園・小学校のファミリーカーニバルが行われ、こども学科の学生で構成されている児童福祉ボランティア「どれみ♪」が参加しました。

「どれみ♪」は毎年この催しに参加していますが、今年からスタンプラリーも担当し大きな収穫となったようです。スタンプを持っている部員を子どもたちに探してもらい、見つけたらスタンプを押すというもの。探してもらう過程でたくさん子どもたちとコミュニケーションを取れたそうです。「2歳から12歳と年齢に応じた対応が難しく、勉強になった。」「皆で企画し準備したものを、大勢の子どもたちが喜んでくれたので、大きな自信になった。」

座学では学べない経験をどれみの活動を通じて身につけています。先生の卵達は、日々成長しています!!



奈良・学園前 CAMPUS

Close-up NEWS



卒業生紹介

入職を決意した理由と現在のお仕事について教えてください。
 年長の時に素敵な担任の先生と出会ったことがきっかけで、次第に小学生の頃から「保育士」という職業に憧れるようになり、大学進学時に保育士への道を志すことに決めました。

木津川市は私の生まれ育った愛着のある町で、思い出のたくさん詰まったこの町に恩返ししたいという思いもあり、市の職員になることを志望しました。現在は、2歳児18名の担任を務めており、元気いっぱいの子どもたちを相手に奮闘する日々を送っています。



石原 千佳さん

現代生活学部 子ども学科2013年3月卒業
木津保育園勤務 (木津川市保健福祉部)

印象に残っている出来事はありますか？
 新しいクラスになり、毎日泣いて登園していた子が、泣くことなく園し、「先生だいすき」と言ってくれたことが忘れられません。その子がどうしたら楽しく保育園に来てくれるかを考え、保護者の方と毎日連絡を取り合い、遊びや声をかけを工夫した努力が報われました。しかし、その子が泣くことなく登園できるようになったのは誰のおかげでもなく、その子自身の成長だと思っています。そう気付かせてもらったことが私自身にとって何よりも感動した出来事でした。

お仕事をやる上で、工夫していることはありますか？
 行事の準備などで、どんなに切羽詰まっている状態や体調のすぐれない時であっても、常に笑顔でいることを忘れずに接するよう心がけています。子どもたちや保護者の方に不要な心配をかけることなく、子どもたちが毎日楽しく過ごせるよう、また保護者の方が安心して子どもを預けられるよう、最高の笑顔が一番心がけています。

その結果、ある保護者の方から「先生の笑顔を見てると、楽しい気持ちになれるよ」と言っていたことがあり、特別何かをしようと思気だまなくても、日々の会話や挨拶、表情でしっかりとコミュニケーションが取れる

大学時代の思い出～仲間～

学生時代はボランティアサークル「どれみり」や執行委員会に所属し、活躍しました。執行委員会では、新入生歓迎会での司会を担当し、約200名もの人の前で話をするにとっても緊張し、途中で投げ出したくなることもたくさんありましたが、本番までに仲間と励まし合い、支えてもらいながらなんとか成功し、その時に味わった感動は忘れられません。卒業した現在も執行委員会の仲間とは交流があります。



あかね祭で仲間と



恩師の小椋たみ子教授と食事会で



卒業式にて

るんだなと改めて感じました。保育士は、子どもたちとはもちろんのこと、保護者の方々とも信頼関係をきちんと築いていかなければいけないと再認識しました。

最後に後輩たちへメッセージを。
 保育士は、投げ出しなくなることもたくさんあるとても大変なお仕事です。一方で、日々子どもたちの成長を身近に感じることでできる素晴らしい職業でもあります。

実習や採用試験など、不安なこともたくさんありますが、帝塚山大学の先生方は親身になって話を聞いてくださいます。受験勉強に行き詰まったら、いつでも身近な先生に相談してくださいね。

大学創立50周年記念 図書館主催 貴重書展&公開講座

大学創立50周年を記念し、夏季、秋季の2回にわたって、貴重書展と公開講座を図書館主催で実施しました。本学が短期大学時代から収集していた貴重資料の一般公開に、多くの方々が奈良・東生駒キャンパス図書館に詰め掛けました。

第1回は、7月8日から22日にかけて、貴重書展「谷崎潤一郎 耽美の世界」を奈良・東生駒キャンパス図書館で実施しました。同時に、大学初の「図書館×博物館」のコラボレーション企画として、附属博物館では「谷崎文学の挿絵」を開催し、鐘木清方、小出楯重、棟方志功らが手がけた挿絵本を展示し、文豪の作品世界に迫りました。

7月16日には、文学部日本文学学科の中島裕教授を講師とした公開講座「谷崎文学の展開」を図書館2階のシーキューブにて開催。復刊本や複製原稿を手に取りながら、展示の解説も受けられるという贅沢なスタイルの公開講座です。参加者からは「もう少し大々的な公開講座にしてもよかったです」といったうれしい感想をいただくなど、好評のうち閉幕を閉じました。

その後、展示コーナーに場所を移し、参加者は貴重書展を閲覧。清水教授に直接説明してもらえる機会とあって、受講者からは積極的な質問が飛び交いました。この貴重書展では、九条家本「源氏系図」(桃園文庫蔵)の原形をうかがい得る資料でもある、本学所蔵の「光源氏系図」を目玉に、源氏物語の版本を中心とした20点を超えるコレクションを並べました。さらに、2008年に京都文化博物館で開催された「源氏物語千年紀展」の企画委員でもあった清水教授による詳しい解説文を、パネルとして展示コーナーの壁面に配置し、源氏物語の貴重資料に対する理解を一層深められるようにしました。

谷崎コレクション。発禁本、限定本などの稀覯本や、初出となる書簡・肉筆原稿など、ほかでは見られない貴重な資料をそろえました。なかでも、太平洋戦争中に谷崎が自家出版した「細雪」の、いわば引換券のようなハガキは非常に珍しく、NHKの全国ニュースをはじめとする各種マスコミでも大きく取り上げられました。メディアでの反響を受けてか、近畿からだけでなく東京や中国・四国地方など遠方からも多数ご来場いただき、なかには、何度も来られるリピーターもおられるなど、非常に満足度の高い展示となったようです。

第2回は、貴重書展「源氏物語 雅の世界」が、11月23日、虹色祭でにぎわう奈良・東生駒キャンパス図書館にて開幕。続く24日には、文学部日本文化学科の清水久子教授による公開講座「奈良でまなぶ源氏物語」を開催しました。熱心な源氏ファンが集う中、「源氏物語は誰のために書かれたのか」をメインテーマに清水教授の講演が進められました。第1回と同じく、複製などを間近に見てもらいながらの大学院形式の講義に、大勢の聴衆は集中力を切らすことなく清水教授の話に聞き入っていました。

本展示は、12月19日までの会期中で、司書課程の実習授業にも活用されるなど、本学の学生にとっても、大学の貴重資料に触れることのできる良い機会となりました。図書館としては、学生、教職員のみならず、地域に愛される大学の「生涯学習機関」として、今後もさまざまな企画を実施していく所存です。



第1回 貴重書展「谷崎潤一郎 耽美の世界」公開講座「谷崎文学の展開」



第2回 貴重書展「源氏物語 雅の世界」公開講座「奈良でまなぶ源氏物語」



1 展示説明を行う中島教授。軽妙な語り口に参加者から笑いが。



2 鮮やかな看板に目を留める学生。ポスターに惹かれて来場した人も多かった。



3 満席の参加者を前に講義を行う清水教授。清水教授が語る「源氏物語」のファンは多い。



4 この特別公開講座のウリでもある受講者へのお土産セット。実はすべて手づくり。



5 熱心な源氏ファンが展示品に見入る。

※稀覯本「きこうぼん」めったにない珍しい本。古写本、古刊本、限定本などで数がきわめて少ない本。

8月

August

▼17日
地域連携イベントを開催

大阪ステーションシティ時空の広場で「Fun Fun Festa 2014」にて、奈良県五條市との地域連携イベント「帝塚山大学×奈良県五條市 自然と遊ぼう！食を学ぼう！」を開催しました。



▼14日
奈良県大芸術祭「第1回奈良県大学祭見本市」で本学が優勝

奈良県に所在する大学の学園祭実行委員が一堂に会し、自身の大学自慢や学園祭PRを行う「奈良県大学祭見本市」が奈良県文化会館国際ホールで行われ、数ある大学の中からステージ上でのパフォーマンス披露が高く評価され、見事優勝に輝きました。



9月

September

▼4・5日

初年次教育学会第7回大会を開催
初年次教育学会第7回大会を奈良・東生駒キャンパスにて開催しました。ガー・レイノルズ氏による記念講演にはたくさんの方々が集まりいただきました。

▼13日

創立50周年記念キャッチコピーが決定
次の50年に歩み出す本学にふさわしいキャッチコピーを全国の高校生を対象に募集し、応募総数1258件の中から厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作5点が選ばれました。
【最優秀賞】「二人の想いをカタチに」
安本里央さん(京都翔英高等学校2年)

▼25日

四天王寺大学と合同ゼミを実施
経営学部の田中雅子教授ゼミと、四天王寺大学経営学部の木村三千世教授ゼミが、四天王寺大学藤井寺駅前キャンパスで、「優良企業について考える」をテーマに合同ゼミを実施しました。



▼29日

岩井学長が高校生を対象に「キャリアデザイン」について講演
京都府立西城陽高等学校において、岩井学長が「キャリアデザイン」をテーマに講演。若いうちから積極的に行動に移していくチャレンジ精神をもって物事に当たってほしいと激励しました。



▼28日～31日

本学で生まれたTIESがアジア(香港)で快挙！
Annual Conference of the Asian Association of Open Universities]において、特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアムTIES (略称:NPO法人COCC-TIES)

▼10日

寺島美郎特別客員教授による特別公開講座を開催
寺島美郎特別客員教授(一般財団法人日本総合研究所理事長、多摩大学学長、三井物産戦略研究所会長の特別公開講座「2015年への展望―世界の変化と日本」が大坂商工会議所国際ホールで開催されました。今年2回目となった今回の特別公開講座にはビジネスマンを始めとした一般市民の方々と本学教職員、学生ら約300名が参加しました。



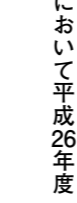
▼27日

ミス帝塚山の北澤香保さんが一日警察署長に
秋の全国交通安全運動のPRとして、ミス帝塚山の北澤香保さん(現代生活学部居住空間デザイン学科2年)が奈良西警察署の一日警察署長を務めました。



▼30日

奈良・東生駒キャンパスにおいて平成26年度9月卒業式を挙げる

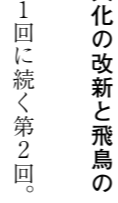


10月

October

▼18日

公開講座&ウォーク「大化の改新と飛鳥の史跡」を開催
9月27日に行われた第1回に続く第2回。



が開発した電子書籍型学習プラットフォーム「OHIO」がBest Paper Award Silver Medalを受賞しました。

11月

November

▼3日

正倉院展特別公開講座を開催
奈良県新公会堂(奈良市)を会場に「正倉院展特別公開講座」を開催し、高校生から一般の方が受講されました。文学部文化創造学科の牟田口章人教授による講演の後、正倉院校倉の外構を見学しました。



12月

December

▼10日

寺島美郎特別客員教授(一般財団法人日本総合研究所理事長、多摩大学学長、三井物産戦略研究所会長の特別公開講座「2015年への展望―世界の変化と日本」が大坂商工会議所国際ホールで開催されました。今年2回目となった今回の特別公開講座にはビジネスマンを始めとした一般市民の方々と本学教職員、学生ら約300名が参加しました。



今回は宇野隆夫教授(文学部文化創造学科)による解説に加え、タブレットでの動画解説を見ることにより、多角的な知識が得られるという画期的な講座となりました。



▼18日・19日

平成26年度保護者教育懇談会を実施
創立50周年を記念し、例年行っている学部別説明会や学業個別面談のほか、本学特定教授である花山院弘匡氏(春日大社宮司)の特別講演、および学外見学として春日大社を訪問しました。

▼20日

奈良テレビ放送「ゆうドキッ！」に出演
同番組の「奈良人十色」コーナーに、尾立純子教授とゼミの学生、卒業生の饗庭さんらが生出演し、本学と株式会社味の大地路様が産学連携により共同開発した「御殿様弁当」を紹介しました。



▼21日

奈良県中小企業家同友会と学生による報告会を開催
今回のテーマは「中小企業だから出来ること」。本学からは菅万希子准教授(経営学部)がモデレータとして出席し、約50名の経営学部の学生が参加しました。

虹色祭(大学祭)・ホームカミングパーティ開催



11/23(日・祝)から2日間、奈良・東生駒キャンパスにおいて、第50回「虹色祭」(大学祭)およびホームカミングパーティを開催しました。創立50周年を迎えた今年のテーマは「INFINITY～虹(なないろ)の可能性」。開催期間はいずれの日も天候に恵まれ、学生をはじめ、保護者、卒業生の皆様、地域の方々など2日間合計で5,000名近くのご参加をいただきました。1日目のフィナーレを締めくくるステージでは、アーティスト「若旦那」のパフォーマンスに多くの観客の方が熱い声援を送りました。創立50周年にちなんだ「50th」を象った「虹色祭キャンドルロード」に灯が点る中、毎年好評のフィナーレを飾る打ち上げ花火も来場者の注目を大きく集めていました。また、24日には卒業生を招いてホームカミングパーティを開催。参加いただいた多くの卒業生の皆様は恩師や友人との久しぶりの再会に旧交を温めていました。



ギネス新記録を樹立「Longest line of ema (世界一長い絵馬の列)」

創立50周年プロジェクトの一環として、「第47回帝塚山大学卒業式・第22回帝塚山大学大学院修了式」において、卒業・修了生全員が、今まさに社会へと巣立ちゆく瞬間に想う自らの将来への「願い」を春日大社の絵馬に込めました。奈良県新公会堂での「帝塚山大学創立50周年記念式典」を挙げる前日、卒業・修了生の「願い」を込めた絵馬の一部を「絆」をつなぐ意味を含め、一本の紐に絵馬を隙間なくつなぎました。その枚数と長さにおいて記録名「Longest line of ema (世界一長い絵馬の列)」としての「ギネス世界記録」を樹立いたしました。この挑戦の成果の一部を「帝塚山大学創立50周年記念式典」にご来場の方々にご覧いただき、帝塚山大学の次なる50年を繋ぐ「絆」のリレーを絵馬の一つひとつを眺めながら実感していただきました。



※「ギネス世界記録」は、ギネスワールドレコーズリミテッドの登録商標です。

職員紹介



島本 英一郎

学生支援センター学生生活課
(奈良・東生駒キャンパス)

平成28年4月からは東生駒キャンパスも全面禁煙化します。

平成15年5月に健康増進法が施行されて以来、本学でも分煙対策の強化をしてきましたが、未だ十分とは言える状況ではなく、平成

23、24年度学生生活意識調査の自由記述では全面禁煙への移行を促す意見も多く、喫煙マナーへの改善要望が絶えない状況に在りました。

本学は今年5月に、キャンパス内の受動喫煙による健康被害を防止するため、健全で快適な学修環境をめざし禁煙宣言をしました。

私自身が喫煙者でしたが、保健室のスタッフの勧めにより禁煙外来で適切な治療を受け、あまり苦勞せずに禁煙する事ができました。喫煙者には肩身の狭い世の中になりました。保健室で禁煙相談してみませんか？



木澤 智子

学生支援センター学生生活課
(奈良・学園前キャンパス)

私は4年前、本学に入職しました。前職では資格専門学校に勤務し、幅広い年齢層を対象とした資格取得相談や、学校運営を経験しました。そこで、「学生時代にもっと頑張っておけばよかった。」という声を何度も聞き、人生の大きな分岐点である大学生という時期に関わる仕事がしたいと思ったことが入職のきっかけとなっています。

現在は学費関係・各種行事・保健室・学生相談室運営に携わっており、迅速正確な対応をするよう心がけています。また、皆さんの変化に敏感な観察力を持つこと、社会で役立つαのアドバイスができることを目標としています。

皆さんにとって、大学の4年間は大切な分岐点だからこそ環境や心の変化も著しく、悩みや迷いがあって当然です。そんな悩みとしっかり向きあうことも、大学時代だからこそ出来る事だと思います。悩みの出口がなかなか見つからない時には、教職員に気軽に声をかけてください。きっと出口を探すヒントが得られるはずです。



国際交流

留学生紹介

今回は、経済学部3年生のレー・ティ・トウィ・ズオンさんを紹介します。

2年前の調査では、ベトナムへ進出している日本企業がすでに1500社を超えているとのこと。(帝国データバンク調べ)そんなベトナム出身のレーさんに日本留学のきっかけを尋ねると「母国のニュースで取り上げられる日本の先進性、日本製品のすばらしさなどに心惹かれたから」と語ってくれました。

来日後の学生生活

エール学園で日本語を学び、本学へ入学して来日5年目を迎えました。幼少期の転校経験からか、異国での生活も3か月目には慣れたものの、母国で学んだ日本語とはかなり違う。関西弁には戸惑ったそうです。

本学入学後も持ち前の適応力で日本人の友人もできました。「同級生はみんな年下だけど親切。授業でも先生方が少しゆつくりと説明してくださるなど、留学生のことを気にかけてくださっています。」



レー・ティ・トウィ・ズオンさん

就職活動に向けて

ご両親の影響からか、夢は会計士として、あるいは金融機関で働くこと。来春から本格化する就職活動に向けて着々と準備を進めており、各種資格取得と日本の企業文化把握や人脈作りに注力しています。資格については日本語能力試験でのN1(最高レベル)取得後、簿記3級などの取得を当面の目標としており、できれば英語にもチャレンジしたい。レーさんの奮闘の様子は、10月23日放映のよみうりテレビ「かんさい情報ネット」で大きく取り上げられました。

留学生生活を振り返ると、「大変なことも多かったけれど、親から独立できてすごく成長できた。」と語るレーさん。「いつかは帰国するかもしれないけれど、それまではこちらで働いて日本の成長に貢献したい。」

後輩へのメッセージ
「やりたいことは最後まで諦めずに！がんばれば、いつか報われる。」



レーさんの奮闘の様子がテレビ番組に取り上げられた

2015年度 学部入試日程一覧

入試区分 (種別)	願書受付期間			試験実施	合格発表日	
	開始	終了	持込			
一般入試	A日程前期	1月6日(火)	1月22日(木)	1月23日(金)	1月29日(木) 1月30日(金)	2月7日(土)
	A日程後期		2月4日(水)	2月5日(木) ~2月7日(土)	2月8日(日)	2月14日(土)
	B日程	1月27日(火)	2月19日(木)	2月20日(金) 2月21日(土)	2月24日(火) 2月25日(水)	3月4日(水)
	C日程	2月16日(月)	3月6日(金)	3月7日(土) 3月9日(月)	3月11日(水)	3月15日(日)
大学入試センター 試験利用入試	前期	1月6日(火)	2月4日(水)	-	-	2月14日(土)
	後期			2月16日(月)	3月6日(金)	-
帰国生徒・ 外国人生徒 試験	後期	2月14日(土)	2月19日(木)	-	3月11日(水)	3月15日(日)
外国人 留学生 試験	後期 指定校	1月21日(水)	2月3日(火)	-	2月24日(火)	3月4日(水)
AO入試	3月	2月27日(金)	3月11日(水)	3月12日(木) 3月13日(金)	3月16日(月)	3月17日(火)

※詳細については募集要項でご確認ください。

【お問合せ先】

帝塚山大学 入試課

☎ 0742-48-9149(直通) ☎ 0742-48-9021

✉ nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

2015年度 大学院入試日程一覧

博士前期課程・博士後期課程

出願期間 1月26日(月) ~ 2月2日(月)

締切日消印有効

選考日程 2月13日(金)* 合格発表 2月18日(水)

※選考方法については、各学部事務室にお問合せください。

お問合せ先

経済学研究科 経済学専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

☎ 0742-48-9861 [教学支援課(経済学部)]

人文科学研究科 日本伝統文化専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

☎ 0742-48-8150 [教学支援課(人文学部)]

法政策研究科 世界経済法制専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

☎ 0742-48-9461 [教学支援課(法学部)]

心理科学研究科 心理学専攻(心理学専修・臨床心理学専修)

〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3

☎ 0742-41-4720 [教学支援課(心理学部)]